

偉大な先輩とやんちゃな後輩

桜井 治幸 先生 と 大木 浩 先生



桜井治幸先生

桜井治幸氏と出会ったのは、桜井さんが確か大木浩代議士の秘書だった頃である。

旧制愛知一中の大先輩大木先生と名前が変わった新制の旭丘高校の六年後輩の桜井氏とは、三人共に同じ学び舎で若い一時を過ごしたという親近感があった。

桜井氏はその後、名古屋市市議員となって「桜井先生」と呼ばれるようになり、名古屋市の行事では直接、間接的に接することになっていった。

桜井先生は、高校時代相撲部に属し、私の同じクラスの矢野治彦氏と親しく、そこに共通の楽しい話がはずんでいた。

名古屋大学時代、応援団長として出かけた野球部の試合で、当時監督であった石黒の中学時代の同級生の大嶽氏とグラウンドとスタンドでの口喧嘩に近いやりとりを桜井さんは思い出深く話していた。

1998年日本グリーンビルディング協会設立総会では、来賓として出席し祝辞を述べてもらっている。アメリカから講師を呼んで実現した「地球環境グリーンセミナー」（全国各地 東京、大阪、広島、福岡）では、講師達の名古屋市松原市長との表敬訪問にはいつも同席して場を和らげていただいた。

これは、ペス建築環境設計が社員全員の協力で行った社会活動であり、尚アースデイ2000年の記念屋外イベントは、テレビ塔下広場に32万人の参加者を得て地球環境保護を目途とした運動のトーチを挙げるイニシアチブ行動とした。

1997年大木浩先生はCOP3京都会議の議長をつとめられ、その後、2002年日本グリーンビルディング協会がNPO法人となるに伴い理事長に就任し、協会行事に協力、助言をいただいた。

「グリーンリベロップメント」日本語版の発行記念のため、2000年にアメリカより来日した著者の一人、ビル・ブラウニング氏と、監訳者、石黒隆敏の二人による講演会が、名古屋と東京での開催が企画され、大木先生に紹介の労を取っていただいて実現に至った。

大木先生は、環境大臣としての履歴から協会が開催した「地球環境グリーンセミナー」には、メッセージを寄せていただいていたがその後、8回目の地球環境グリーンセミナーは2005年日本国際博覧会「愛・地球博記念グリーンセミナー」と呼ばれたが、それには主催者として開会の挨拶を始め、多面にわたりご尽力いただいた。そのセミナーには、スペイン、マドリードとオーストリア、ウィーンから講師を招き、ヨーロッパに於ける地球環境問題とその解決のための行動と実例を学ぶ機会となった。



大木浩先生とグリーンセミナー講師達
(スペイン、オーストリア) と会食